

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境			0.40		-				3.4
1 音環境		3.0	0.15		-				3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-				
1.2 遮音		3.0	0.40		-				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00		-				
2 界壁遮音性能					-				
3 界床遮音性能(軽衝撃源)					-				
4 界床遮音性能(重衝撃源)					-				
1.3 吸音		3.0	0.20		-				
2 温熱環境		3.2	0.35		-				3.2
2.1 室温制御		3.5	0.50		-				
1 室温		3.0	0.38		-				
2 外皮性能	Low-E複層ガラスを採用	5.0	0.25		-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-				
2.3 空調方式		3.0	0.30		-				
3 光・視環境		3.0	0.25		-				3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.30		-				
1 屋光率		3.0	0.60		-				
2 方位別開口					-				
3 屋光利用設備		3.0	0.40		-				
3.2 グレア対策					-				
1 屋光制御					-				
3.3 照度		3.0	0.20		-				
3.4 照明制御		3.0	0.50		-				
4 空気質環境		4.3	0.25		-				4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	内部仕上は全てF☆☆☆☆又は告示対象外とする	5.0	1.00		-				
4.2 換気		3.3	0.30		-				
1 換気量	居室において単位換気風量Q=30m ³ /h・人確保	4.0	0.33		-				
2 自然換気性能		3.0	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-				
4.3 運用管理		4.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-				
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙	5.0	0.50		-				
Q2 サービス性能			0.30		-				3.5
1 機能性		3.6	0.40		-				3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性					-				
2 高度情報通信設備対応					-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30		-				
1 広さ感・景観					-				
2 リフレッシュスペース					-				
3 内装計画	機能を明確し、インテリアベースによる内装計画の検証を行っている	5.0	1.00		-				
1.3 維持管理		3.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		4.0	0.30		-				4.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	基準より50%増の耐震性を有する	5.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管は塩化ビニル鋼管、排水管は鉄管及び耐火二層管、E	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		3.4	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備	節水器具を採用、中水利用可能な配管系統、受水槽に非常時用	4.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法	耐震Aクラス	4.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-				
3 対応性・更新性		3.0	0.30		-				3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	0.30		-				
1 階高のゆとり					-				
2 空間の形状・自由さ		3.0	1.00		-				
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-				
3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-				
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-				
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-				
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-				

	4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	-
	5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	-
	6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		-	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		-	3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	-
	3.2	敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制		[BPI]=0.50	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		[BEI]=0.50	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		-	3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	3.0	1.00	-	-	-
	4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	-
	4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	-
	集合住宅の評価		-	-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	-
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1	水資源保護		-	3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	主要水栓は定流量弁付、大便器および小便器は節水タイプ	4.0	0.40	-	-	-
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-	-
	1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	-
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		-	2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1	材料使用量の削減	-	2.0	0.11	-	-	-
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	-
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	-
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	-
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	-
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内装下地はLGSを設ける	4.0	0.22	-	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		-	3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	-
	3.2	フロン・ハロンの回避	-	3.0	0.70	-	-	-
	1	消火剤	-	-	-	-	-	-
	2	発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	-
	3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルにおけるCO2排出量は参考値の66%まで低減	4.3	0.33	-	-	4.3
2	地域環境への配慮		-	2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	-
	2.2	温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	-
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	-	2.5	0.25	-	-	-
	1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	-
	2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	-
	3	交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	-
	4	廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	-
3	周辺環境への配慮		-	3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	-	3.0	0.40	-	-	-
	1	騒音	-	3.0	0.50	-	-	-
	2	振動	-	3.0	0.50	-	-	-
	3	悪臭	-	-	-	-	-	-
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制	-	3.0	0.40	-	-	-
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	-
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-
	3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	-
	3.3	光害の抑制	-	3.0	0.20	-	-	-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	-

GASBEE-建築(新築)2016年版

永守重信市民会館整備事業

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	3.0	3.0	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	-	-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0	-	-	1.0	-	1.0	-	2.0	-	2.0	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															

